

## (2) 地域の公共施設等における子ども読書活動の推進

### 子どもと保護者への取組みの充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
20	豊中版ブックスタート事業「えほんはじめまして」→23年8月よりブックスタート事業「えほんはじめまして」	赤ちゃんにとって親子のふれあいや温かい語りかけが大切なこと、赤ちゃんと一緒に絵本を読み合う楽しさを伝える事業。図書館が子育て支援の場であることや利用の方法についても伝える。引き続き4か月児健診時、市内3か所の会場で行う。家庭でもすぐ楽しめるよう絵本を1冊配布するほか、絵本のリストや図書館の案内、子ども文庫のしおり等をコットンバッグに入れて配布する。また健診未受診者へ保健師が絵本もしくは引換券と「えほんはじめまして」の資料を配布する等、状況に応じて働きかけを行う。 〔123にも掲載しています。〕	継続	○	ブックスタートパック手渡し率	97.0%	24年4月から新たな市民ボランティアが加わり、図書館職員とボランティアスタッフが、乳幼児と絵本を開くことの楽しさを伝えている。絵本配布開始から1年が経過し、ブックスタート対象者が絵本の引換券を持って図書館に来館するケースも増え、健診未受診者へのフォロー体制も機能しつつある。図書館の乳幼児向けおはなし会の参加にもつながり、図書館が子育て支援の場であることも認知されてきた。24年度は周知事業として「巡回写真展」を市内4か所で開催した。写真展最終日には千里文化センターコラボにて「子育て座談会『赤ちゃんといっしょに…絵本のある暮らし』」を開催し好評を得た。24年度はスタッフミーティングを2回開催し、スタッフ間の情報共有や研修の場とした。(図書館) 乳幼児と絵本を楽しむことへの関心を持ってもらうことができ、図書館が地域の人や子育てをしている保護者の交流の場、子育て支援の場として認知されてきている。健診未受診者に対しては、保健師による訪問時に絵本を配布、事業説明を実施するなど、全対象者への啓発に努めている。(保健予防課)	○読書振興課・図書館 保健予防課 豊子連
<p>・初めてのブックスタートでしたが、ママも赤ちゃんも全体的にとっても落ち着いていました。何人もの赤ちゃんに本を読みましたが、泣く子が1人もいなく、お互いに楽しく時間を過ごせ、お兄ちゃんやお姉ちゃんとも絵本を楽しみました。時間があっというまに過ぎ、有意義なひとときを有難うございました。・今日は流れがゆっくりとしていて、ゆったりとした気持ちで接することが出来ました。お母様たちも興味をもって絵本をみてくれてお話を積極的に聞いてくれました。(ボランティアの声/ブックスタート会場の記録より)</p>								
21	乳幼児向けおはなし会「ほっとタイム」	「ほっとタイム」ではプレイルームに来館した0歳～就学前の子どもと保護者を対象に、あそびを提供し、気軽に参加してもらい、子ども同士や保護者同士の仲間作りの場で絵本の読み聞かせや年齢にあった絵本の紹介を行う。	継続	○	回数／参加人数	437回／10,775人	地域子育て支援センターが16か所。子育て支援センター1か所。全センターでおはなし会が実施される。回数を重ねることに楽しみに参加する保護者も増えてきている。絵本を子どもはもちろん子育てをしている保護者がより楽しいものと感じてきているようだ。年齢に合わせた絵本の特徴や楽しさを伝えていくことで生活の中で自然に絵本などを取り入れる大切さを伝えていきたい。	子育て支援センター
22	親子の遊びのひろば「パンダグループ」「こぐまグループ」	「パンダグループ」は2・3歳の子どもとその保護者を対象にした8回の連続講座。「こぐまグループ」は1歳6か月から2歳未満の子どもと保護者を対象にした4回連続講座。遊びや情報提供を行っている。これらの取組みの場で絵本の読み聞かせや年齢にあった絵本の紹介を行う。	継続	○	回数／参加人数	628回／14,280人	「パンダグループ」や「こぐまグループ」ではまず絵本の楽しさを伝えている。パンダやこぐまの活動の中で、保護者同士が、相談しながら工夫し、子どもへ絵本などを披露してくれる機会を持つと、保護者同志の関係性も深まり、また子どもの喜ぶ姿を見て保護者も子育ての自信をつけているようだ。保護者同志のつながりきっかけとして絵本などがよい媒体となっており、とても有効なツールだと実感している。	子育て支援センター

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	実施状況と課題		関係部局・団体
						実績		
23	「出前講座」	地域の子育てサロン・子育てサークル等に出向き、遊びの提供の場で読書活動（絵本・紙芝居・ペープサート・パネルシアター等）を推進する。	継続	○	回数	689回	居宅の親子が出向きやすいいろいろな場所で読み聞かせができる機会を多く作り、参加する年齢に応じた内容の絵本の読み聞かせなどを実施した。	○子育て支援センター 読書振興課・図書館
24	「センター講座」 「ほっぺ講座」	子育て支援センターで、保護者向けに子どもの読書の楽しさ、大切さを伝える講座を行う。各センターの講座に参加することで職員の研修として活用する。また課題などについてセンター間で情報を共有し、事業点検を行う。	継続	○	保護者向け講座回数	64回 ／ 1,794人	講座に関しての保護者のニーズは高い。子育ての中に絵本を！親子で楽しもう！年齢にあった絵本は？など…いろいろなテーマに沿った講座のねらいを持ち、読み聞かせや絵本の紹介をしていただいた。保護者の感想としては、「絵本の選び方や読みかけの方法など参考になった。」「絵本を読むきっかけになり図書館に行こうかなと思った」。など専門家のアドバイスは、好評であった。（子育て支援センター）	○子育て支援センター 読書振興課・図書館
25	「子育て総合支援事業」	子育て・子育て支援講座や育児相談事業の中で、子どもと本に関する講演会や相談を行う。 全市立幼稚園（7園）実施	継続	○	回数／参加人数	10回 ／ 296人	絵本の中の絵や言葉がくれるメッセージをゆったりと感じとっていくことで、大人も絵本の世界を楽しんでいく。大人になってから絵本を読んでもらうことなどないので、絵本の世界に浸り、それが子ども達に伝わり子育てへと繋がっていくと思う。この貴重な経験を継続し、多くの方たちに知らせ広めていくことが課題である。	保育幼稚園室
26	フリースペース	就学前の親子を対象に週2回、親子でくつろげる場を提供する。また、毎回絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどを行う。	未実施	□	回数／参加人数		事業終了（24年度より幼児教育支援センターたんぼがてしま幼稚園地域子育て支援センターへ移行のため）	—
27	親子たんぼ体験教室	未就園児の親子を対象とするプログラムで毎回絵本の読み聞かせを行う。（てしま幼稚園としんでん幼稚園で実施）	未実施	□	回数／参加人数		事業終了（同上）	—
28	図書貸出	幼児教育支援センターたんぼほに図書スペースを設置し、フリースペースの参加者や子育て中の保護者を対象に絵本や子育てに関する図書の貸出しを行う。	未実施	□	貸出人数／貸出冊数		事業終了（同上）	—
29	情報相談	子育てに関する相談の中で絵本にふれる機会を提供する。	継続	○	子育てに関する情報相談件数	12件	情報相談の折に絵本を案内する機会がある。	すてっぷ

地域の公共施設等

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
30	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さんへの家事・育児参加を働きかける講座で絵本を紹介し、利用につなげる。	継続	○	リスト掲載冊数／配布枚数	テーマ展示リスト30冊／155枚 関連図書リスト30冊／450枚	テーマ展示「男らしさってなんだろう?～オトコの生き方*考」リストを作成・配布。(男性の家事・育児に関する図書や児童書多数含む) 子育て支援課と共催の「お父さんのための子育て講座」で関連図書や絵本を紹介し、リストを配布した。	すてっぷ
31	お父さん・おじいさんへの働きかけ	お父さん、おじいさんなどに絵本への関心を広める機会の提供を行う	継続	○	参加人数	148人	岡町図書館では男性職員によるおはなし会を春のこどもの読書週間に合わせて実施。迫力のある男性の声でのおはなし会では、大型絵本や紙芝居などを楽しんだ。祝日の土曜日の実施で、お父さんと子どもの参加も多かった。千里図書館では、「春休みおはなしワールド」をお父さんも参加しやすい日曜開催にした。また千里文化センターコラボにおいて「子育て座談会『赤ちゃんといっしょに・・・絵本のある暮らし』」を日曜日に開催、子育て中のお父さんをゲストに呼び、経験をふまえて絵本の話をしてもらった。	読書振興課・図書館
32	子育てグループ活動への支援	公民館グループで活動する子育てサークルに子どもの読書に関する講座や情報の提供を行う。	継続	○			図書館のリサイクル本を活用した図書コーナーを中央公民館1階ロビーに設置している。	公民館
33	啓発講座	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。	継続	○		1回／150人	すてっぷ協賛事業として登録団体「朗読カフェひまわり」が、朗読&絵本とピアノのコラボ「いのちいっぱい絆」を実施。	すてっぷ
34	保護者向け講座の開催	子どもの読書の楽しさや大切さを伝える講座を開催する。〔38にも掲載しています〕	継続	○	参加人数	2回延べ25組(中央)11回延べ369人(蛍池)・9回延べ745人(千里)	中央公民館では「子育て広場 親子で絵本作り・よみきかせ」の連続講座を実施した。1回目は親子で絵本を作り、親が完成した絵本の読み聞かせを行い、2回目は図書館司書による読み聞かせを行った。蛍池公民館「すくすくおはなしタイム」、千里公民館「千里親子ふれあい広場」では、毎回、図書館司書による読み聞かせを実施した。	公民館
<p>・本選びが苦手なので、紹介いただいた本を見つけて読んでみたいと思いました。ありがとうございました。          ・その場で本を借りてよかったです。          ・司書の方に読んでいただくと家とは違って私も楽しめました。子どもも家よりよくきいてくれていました。          (子育て広場親子で絵本作り・よみきかせアンケートより)</p>								

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
35	おはなし会	子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続	○	回数／参加人数	24回／480人参加	すてっぷ登録団体「おはなし会とっこ」が、月に2回(第1、3月曜日)すてっぷロビーのキッズスペースで、親子を対象とした「絵本の読み聞かせと手あそび」を実施。絵本と手あそびを通して、豊かな感性を持った子どもの育成をめざし、親子のふれあいの場とする。引き続き、周知・広報に努め、参加人数を増やすことが課題である。	すてっぷ
		子どもたちが生活の一部として利用している児童館の中でおはなし会を開き、本やおはなしに親しむ機会ときっかけを作っていく。	継続	○	回数／参加人数	3回／41人	23年度までは、岡町図書館職員による月1回30分程のおはなし会を行ってきたが、本の読み聞かせだけでは参加者が少なかったため、24年度は、学期ごとに1回1時間、本の読み聞かせとその本にちなんだ工作をするなどの工夫をしていた。すると、低学年から高学年までの幅広い子どもたちが興味を示し、1回に参加する人数が増え、場が盛り上がった。その様子をみて途中から参加してくる子どももいた。また、その時に作った工作を児童館に展示することで、興味を示す子どももでてきた。その時その時の子どもたちのニーズに合わせた工夫をしていくことが必要である。	豊中人権まちづくりセンター
		子どもたちの身近な施設でおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続	○	回数／参加人数	81回／556人＋3回／60人	毎週水・金3:00～4:00まで、「たのしい集い」で絵本の紹介、工作などを実施。また、年3回「おはなしと折り紙あそびを楽しむ会」では、おはなしボランティアポケットのおはなしと、当館職員による折り紙あそびを実施。引き続き利用者のニーズに応じた内容を検討し、参加者を増やしていきたい。	庄内少年文化館 おはなしボランティアポケット
		放課後子どもクラブの活動の一環として、ボランティアによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をつくる。	継続	○	回数／参加人数	381回／18,312人	定期的におはなしボランティアポケットなどによるおはなし会を開催し、本やおはなしを楽しむ機会をついている。	放課後子どもクラブチーム おはなしボランティアポケット 野畑おはなしの会
36	図書館訪問	放課後子どもクラブの校外活動の一環として、図書館を訪問し、子どもたちが本を読んだり図書館が開催するおはなし会に参加しておはなしに親しむ機会をつくる。	継続	○	回数／参加人数	26回／584人	校外活動として図書館を訪問している。近くに図書館がない、一度に多人数の訪問になるなどの課題はあるが、一度訪問すると子どもも喜び、訪問していないクラブにも利用の促進を図りたい。	放課後子どもクラブチーム
37	図書リストの配布や子どもへの学習相談	男女共同参画及び自己尊重の心を育むための図書リストを作成し、配布する。また、学校図書館専任職員や教員を通してのレファレンスに応じる。	継続	○	図書リスト・掲載延べ冊数・小中学校等への配布枚数	夏休みリスト10冊・1,000枚	夏休みの読書のためのリストを作成し配布した。来館者にも配布し、参考資料になっている。夏休みには学習相談を実施した。	○すてっぷ小・中学校関係施設

子どもの本や読書に関する情報提供

◆〈実施計画の取組み〉(8ページ)をご参照ください。

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
38	子育て教室	就学前児童の保護者や子育てに関心を持つ人が、必要な知識を学習する機会に子どもの読書に関する情報の提供を行う。	継続	○	開催回数／参加人数	2回延べ25組(中央)11回延べ369人(蛍池)・9回延べ745人(千里)	項目No.34と同じ	公民館

読書環境の整備

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
39	絵本コーナーの充実	保健センター等に絵本コーナーを開設し、健診時に親子で絵本とふれあう機会を提供する。	継続	○	設置箇所	3か所	各保健センターに設置。集団健診やクリニック・育児相談の待ち時間に、保護者が子どもに読み聞かせをしたり、子ども自身が絵本を選び読んでいる姿が多く見られ、待ち時間を絵本と触れ合うことで楽しく過ごすことができている。(保健予防課) 保健センターの絵本コーナーについて、傷んだ本の修理を図書館で行うなど、保健師と図書館職員が日ごろから協力してコーナーを維持している。傷んだ本の差し替えをリサイクル図書で用意するなど、24年3月から入替、補充を行っている。(図書館)	保健予防課 読書振興課・図書館
40	絵本コーナーの充実	絵本コーナーの充実、貸出等、親子がやりとりしながら絵本に親しめる環境をより充実する。	継続	○	絵本の取り替え回数	随時	絵本コーナーを設置し、絵本に親しめる環境作りを行う。絵本の選定や入れ替えは、計画的に各センターが状況に合わせて行っている。今後も絵本コーナーの充実に努める。	子育て支援センター
41	読書環境の充実	すてっぷの情報ライブラリーの絵本や児童書を充実し、大人も子どもも身近に絵本と親しむことができるようにする。	継続	○	おはなし会回数／参加人数	24回／480人参加	情報ライブラリーでは児童書コーナーを設けている。また、夏休み期間には特別展示で、児童書やブックリストを並べて、大人と子どもと一緒に絵本にふれる機会をつくっている。 すてっぷ登録団体「おはなし会とっこ」が、月に2回(第1、3月曜日)すてっぷロビーのキッズスペースで、親子を対象とした「絵本の読み聞かせと手あそび」を実施。絵本と手あそびを通して、豊かな感性を持った子どもの育成をめざし、親子のふれあいの場とする。引き続き、周知・広報に努め、参加人数を増やすことが課題である。	すてっぷ
42	絵本コーナーの充実	図書館と連携し、公民館のロビーや保育室にある絵本コーナーを充実する。	継続	○	蔵書冊数	123冊	各公民館保育室に絵本コーナーを設置している。また、中央公民館1階ロビーでは利用者に活用していただくための絵本コーナーを設置している。(実績は中央公民館、絵本コーナーの数値)	公民館

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
43	図書室・図書コーナーの充実、本のある居場所づくり、地域の子どもと保護者への取組み	これまで分類上は「図書室・図書コーナーの充実」のみであったが、子育て交流広場での読み聞かせ、絵本を通して子育てを振り返るおはなし会、友達との調べ物、物語から自分を振り返る人権学習など本に関わった取組みが増えているので、これらを前面に出して読書への関心へとつないでいく。	継続	○	館利用人数	41,309人	24年度は整備のため図書室を開放していない期間もあったが、子育て交流広場での絵本の読み聞かせや、仲間づくりでの絵本の活用を継続していった。25年度は新たに整備し直した図書室を開放し、本のある居場所づくりを進めていく。	蛭池人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実、本場のある居場所づくり、地域の子どもと保護者への取組み	団体貸出の利用と保護者等からの絵本のリサイクルにより、図書コーナーの充実を図る。また、本に囲まれた環境の中で学習室としても活用を増やすなど、子どもが本を身近に感じる環境作りをしていくために壁装飾の取替を学期ごとに行うことを企画していく。	継続	○	館利用人数	46,224人	「本のへや」で宿題をしていて、漢字がわからないと本棚から辞書をさがして調べたり、黒板を使って学校ごっこをしてあそんでいる姿がある。また、教育実習生が「本のへや」の装飾の図案を考え子どもたちと一緒に作り大切に飾っている。課題としては、本の入れ替えができずワンパターン化しているため、季節ごとの本のコーナーづくりなど工夫が必要である。	豊中人権まちづくりセンター
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により図書室を充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。	継続	○	児童書所蔵冊数／団体貸出	2,031冊 ／ 80冊	大型絵本や展示の工夫により、子どもの目に留まりやすい配架を心掛けている。子どもが手に取った本を大人に見せに行き、一緒に読んで楽しんでいる様子がうかがわれる。今後も継続的に子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備していく。	すてっぷ
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用、また一般市民からの寄贈本やリサイクル本などの活用により図書コーナーの充実を図る。また、子どもが身近に本と親しむことができる環境づくりのために表示板の作成や壁面構成に努めている。	継続	○	貸出人数／貸出冊数	1,495人／ 4,474冊	平日と土曜日は文化館で活動する子どもや地域の子どもたちの居場所になっている。日曜日は、北摂子ども文化協会主催のクラブ活動・カルチャー教室の利用者が中心。幼児・小中学生を中心に、一般利用者にも貸出を行っている。資料購入冊数は年間200冊程度。資料費に限られる中、リサイクル本や寄贈本の活用を努めている。引き続き、本に親しむことのできる環境を整えていきたい。	庄内少年文化館
	図書室・図書コーナーの充実	資料の新規購入や団体貸出の利用により、放課後子どもクラブなど各施設の図書室や図書コーナーを充実し、子どもが身近に本と親しむことができる環境を整備する。	継続	○	貸出校数／貸出冊数	41校 ／ 9,470冊	全校で図書館からの団体貸出(読み物、紙芝居など100冊程度)を利用して、図書館コーナーを充実させている。今後も子ども達の身近な場所に本があるという環境を充実させ、読書を推進していきたい。	放課後子どもクラブチーム

地域の公共施設等

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
44	図書コーナーの充実	男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する図書や絵本を充実する。	継続	○	児童書購入数	26冊	継続して購入した結果、利用者の関心も増え利用されている。今後も継続的に男女共同参画及び自己尊重の心を育むことに関する資料を充実していく。	すてっぷ
45	見学・交流会	図書室や図書コーナーの充実と情報交流のため保育所(園)、幼稚園や他の施設の訪問や見学を行い、図書館サービスに関する情報提供を行う中で、必要な支援、連携を実施する。	継続	○			庄内幸町図書館を除く各図書館では、各地域の子育てに関わる人や、保育所の職員と情報交換を行う「子育て・子育て支援ネットワーク子ども部会」に参加し、それぞれの地域の子育てに関わる人と、情報交換を行った。同じ地域における子育てに関する情報を共有することでさらにきめ細かなサービスを行うことができ、それぞれがサービスを行う上で、必要な時には図書館といつでも連携できるような関係を作ることができた。	読書振興課・図書館
46	本のある居場所づくり	「青年の家いぶき」や図書館などの公共施設に、くつろいで読書や学習ができるスペースを提供する。	継続	○			「青年の家いぶき」のロビーは、放課後や試験期間、長期休暇中に多くの中学生以上の利用が見られる。その中学生以上の利用促進のためにいぶき図書室の開室日数や時間帯等のPRIについて工夫が求められる。	青少年育成課 読書振興課・図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

◆〈実施計画の取組み〉(8ページ)をご参照ください。

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
47	子ども読書活動ボランティアの育成・支援	子育て中の保護者が、就学前の親子を対象に、絵本の読み聞かせやパネルシアター、紙芝居などを行うボランティア活動を育成・支援する。	継続	○	回数	76回	5か所の支援センターでボランティアグループが、ペープサートや紙芝居などの作品を作り、それぞれの地域ニーズに応じた場所(公園・サロン・保育所など)で発表したり、また絵本の読み聞かせなどの活動を行っている。	子育て支援センター

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
48	出前おはなし会	市民団体・子育てグループの子育て支援としてすてっぷの登録団体が読み聞かせを実施する。	未実施	□	回数		実施なし(検討中)	すてっぷ
49	研修の機会の提供	登録団体の活動を支援するため学習の機会を提供する。	未実施	□	回数／参加人数		登録団体事業助成金事業を行っており、研修講座への助成も可能ではあるが、2012年度は、実施なし。	すてっぷ
50	情報の提供	読書活動に関する情報やおはなしボランティアの活動場所の提供を行う。	継続	○			ボランティアの活動場所の提供に努めている。	公民館

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	取組みの内容	区分	状況	指標	平成24年度(2012年)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
51	職員研修	子どもに関わる施設の職員が、子どもの育ちの中の読書の大切さを理解するための研修を行う。 [158をご参照ください。]	継続	○	回数	1回	東豊中図書館では豊中市立幼稚園教育研究会「子どもと楽しむ絵本部会」で幼稚園教諭を対象に絵本や読み聞かせについてお話をした。今年度から始まった勉強会で今年のテーマが絵本だった。	読書振興課・図書館職員研修所 関係施設
52	指導員研修会	放課後こどもクラブのおはなし会活動をより充実したものにするために、指導員に対して読書活動の意義を伝え、理解を深める取組みを行う。	未実施	□	回数／参加人数		実施なし	放課後こどもクラブチーム 読書振興課・図書館
22年度より追加	読書直結プログラム	読書と直結した児童館プログラムの中で図書に親しむ機会を創る。	未実施	□	回数／参加人数		実施なし	蛸池人權まちづくりセンター